

「湖山の宝」巡りモニターツアーレポート

概要

市を何度も訪れてくれる観光客を増やすことで地域の活性化を推進しようと、市を代表する資源「湖山の宝」を巡る周遊観光の商品化を目指しています。今回は、市外から訪れるゴルファーと、その家族やお知り合いの方々を対象に市内の旅行代理店や観光施設と提携した企画第1弾。(9月20日)

日程

～市内周遊組～

8:30 千代田カントリー
クラブ集合

9:00 千代田地区で
果樹狩り

なし・ぶどう食べ放題

10:00 雪入ふれあいの里公園で
ハイキングとコースター作り

風の池まで往復約40分のハイキング
市内を一望できるビュースポット



かすみがうら「湖山の宝」巡り
パスポートとスタンプカード付

※観光商工課または市H.Pから申請できます。
※対象者：市以外に居住する方

13:00 霞ヶ浦遊覧

ホワイタイリス号で歩崎まで航行！

プランクトン観察ができたことがよかった！

船内の顕微鏡で霞ヶ浦の水質調査
歩崎沖で帆引き船を見学

なかなか見れない帆引き船を見ることが
できてよかった！

15:00 歩崎公園自由散策

郷土資料館・あゆみ庵・水族館を
パスポートを使って見学

16:00 活性化センターでお買い物

今まで知らなかったかすみがうら市を
知ることができました！

17:00 千代田カントリークラブで解散

～ゴルフ組～

ナイスショット！！

秋を感じながらの
林間コースが
気持ちいいネー！

11:30 千代田カントリー
クラブで家族そろって昼食

ユニークなれんこんハンバーグ
とってもおいしかったです！

成果

市内ゴルフ場の年間利用者は、主要観光施設利用者を上回るほど訪れています。そのゴルフ場を基点にしたツアーで、参加した家族などのグループ41人は、ゴルフ組と観光バスで「湖山の宝」を巡る周遊組に分かれ思い思いの時を過ごしました。

参加者の声やツアーシナリオ、課題などは、旅行代理店へ提供し、来年度以降からの旅行商品化の定着を目指すとともに、「湖山の宝」巡りの主要スポットとなる霞ヶ浦観光や果樹観光などの振興のために反映させていきます。



なし ぶどう とっても甘かったです！

都市住民のための農業体験受入事業レポート

概要

都会に住む人たちに、ありのままの農村の生活や農業の魅力を肌で感じていただき、田舎と関わるきっかけをつくり、将来的には定住につながることを期待して企画したものです。今回は、農業経営士の受入協力のもと2泊3日の日程で実現しました。(9月19日～21日)

～レンコン生産農家へ～



体験者 久保田和人(58歳)

受入者 飯田敬市さん(戸崎)・飯村恵子さん(同)

1日目 軽作業

2日目 レンコン収穫、箱詰め

3日目 ぶどうの収穫、研修報告

霞ヶ浦沿岸に延々と続く花や葉を見たとき、里芋かなと思いましたが、それがレンコンだと知りこんなにたくさん蓮田があるのかとびっくり！あの中に入るのかと思うとわくわくしています。(久保田さん)

軽作業ではありましたが、収穫から出荷まで一連の流れが理解できました。「かすみがうら」のれんこんは、全国一とのことですが、意外に都内では知られていないのでは。PRのためにレンコン料理の専門店などがあってもいいですね。かすみがうら市は本当に風光明媚で、定年後は、貸家を探してこちらで生活することも考えたいと思いました。(久保田さん)

成果

3日間ではあるものの、参加者は、収穫の喜びを体験すると同時に作物を育てる苦労や工夫を知り、ありのままの農村・農業を体感できた様子でした。受入農家側からは、「2泊3日程度であれば、参加者にとって、単純作業にも飽かず、疲れ過ぎることもない。双方にとってちょうどいいあんばいなのでは」との感想をいただきました。

一方で、今回の参加者は、いずれも自家用車を利用しない方で、自由時間の移動が制限されてしまったこと、また、宿泊場所が、市農村改善センターや数件の旅館のみであるため、体験先との距離を考慮すると限定的な受入とならざるを得ないことなどの課題もありました。これらは、今回の農業体験に限らず、観光事業を進めるにあたっても重要な問題であり、包括的に研究を要するところでもあります。

ともあれ、今回の企画は、参加者にはとても好評で充実したものとなり、市としても、双方からの貴重なご意見やご感想を十分に踏まえ、次回(来年3月に予定)につなげていこうと考えています。

～果樹生産農家へ～



体験者 石崎興亜さん(69歳)・京子さん(62歳)

受入者 外塚孝雄さん(新治)

1日目 梨の収穫

2日目 市場見学、梨の収穫、選果場での箱詰め

3日目 ぶどうの収穫、研修報告

日程

体験前

妻の農業をやってみたいという思いに共感し、農業をしながら暮らせる土地を探しています。家にも梨の木があり、いろいろ勉強して帰りたいです。(石崎さん)

体験後

出荷先の見学や直売所での出会いなど、楽しく過ごせました。ホームセンターなどに営農の相談ができるアドバイザーを置くなど、農家の持っている専門知識をもっといかす場所があったらいいはず。(石崎さん)

